

# 基本情報技術者試験講座

ITスキルに磨きをかけて基本情報技術者を目指そう！！

## 講座の特長

- ・大学の授業で情報技術に関心を持った人！高校で情報技術を学んだ経験のある人！その関心を実力に変えて情報技術者試験の合格を目指す講座です。
- ・高校で情報の資格を取得した人または取得を目指していた人は、1年生からでも受講できます。（例：ITパスポート試験、日商PC検定、全商情報処理検定試験など）

## 【試験の概要・資格試験の全体像】

「基本情報技術者試験」は、経済産業省が認定する国家試験「情報処理技術者試験」（実施：独立行政法人情報処理推進機構）の一区分で、「高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けた者」を認定する試験です。

国家試験ですので、合格レベルは情報産業界で広く認知され、情報技術者としての正に「基本」となる試験であり、更に上位の試験を目指す入口です。（下表を参照）

すべての社会人		情報処理技術者（ベンダ側/ユーザ側）									
情報処理技術者試験の試験区分	ITを活用する社会人に求められる基礎知識	高度な知識・技能	ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験	ネットワークスペシャリスト試験	データベーススペシャリスト試験	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	情報セキュリティスペシャリスト試験	ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験
	ITパスポート試験		応用的知識・技能								
			基本情報技術者試験								
		基本的知識・技能	基本情報技術者試験								

(出典)「情報処理技術者試験 試験要綱」 情報処理推進機構

「基本情報技術者試験」は、春期（4月）、秋期（10月）の年2回実施され、「ITパスポート試験」は、CBT(Computer Based Testing)方式で随時各地の試験会場で実施されています。

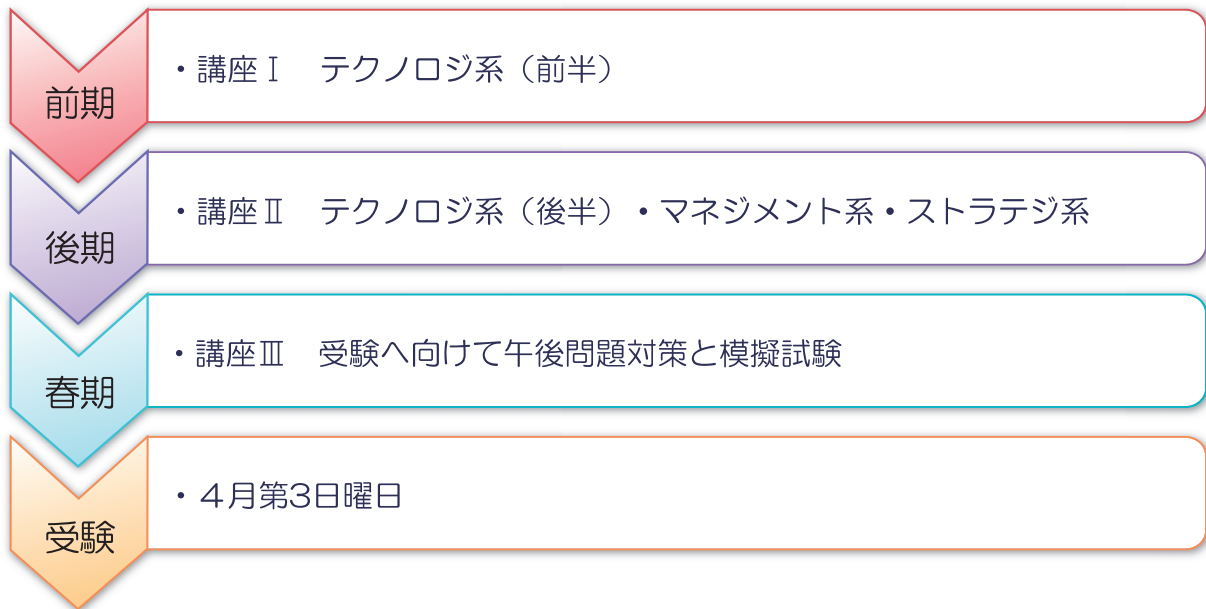
## 講師紹介・メッセージ



### 高橋 秀行（作新学院大学経営学部教授）

経営学部専門科目と共通教育科目にて、経営情報論、コンピュータシステム基礎、データベース概論、情報ネットワーク論など担当。「試験範囲は広いですが、決して難解な理数系試験ではありません。コンピュータの仕事のやり方を勉強しましょう！」

**【講座のイメージ】** 基本的には1年後の基本情報技術者試験を目標にします。  
同時に、正課科目で開講する情報系科目も積極的に履修してください。



**【講座内容】** 基本情報技術者試験講座の各回授業での学習項目です。

講座名			
回数	基本情報技術者試験講座Ⅰ （前期）	基本情報技術者試験講座Ⅱ （後期）	基本情報技術者試験講座Ⅲ （春休み）
1	実力診断テスト	実力診断テスト	午後問題対策（テクノロジ）
2	基礎理論（1）	ネットワーク（1）	午後問題対策（テクノロジ）
3	基礎理論（2）	ネットワーク（2）	午後問題対策（テクノロジ）
4	アルゴリズムとプログラミング	セキュリティ	午後問題対策（マネジメント）
5	コンピュータ構成要素（1）	システム開発技術	午後問題対策（ストラテジ）
6	コンピュータ構成要素（2）	ソフトウェア開発管理技術	午後問題対策（開発言語）
7	システム構成要素	プロジェクトマネジメント	午後問題対策（開発言語）
8	ソフトウェア（1）	サービスマネジメント	午後問題対策（開発言語）
9	ソフトウェア（2）	システム戦略	基本情報技術者試験講座Ⅲは 8回で終了します
10	ハードウェア	経営戦略（1）	
11	ヒューマンインタフェース	経営戦略（2）	
12	マルチメディア	企業活動（1）	
13	データベース（1）	企業活動（2）	
14	データベース（2）	法務	
15	模擬試験&解説	模擬試験&解説	